

「在宅医療における肺炎重症度判定予測尺度に関する研究」

についてのお知らせ

国立病院機構東埼玉病院では、標記の研究を行なっております。

1 実施目的について

訪問診療をご利用されている患者さまに発熱が生じ、医師が肺炎と診断した際にご自宅で重症度を判定し、入院した方が治りやすいか否かを予測する尺度を開発します。

2 実施内容について

当院の訪問診療をご利用中の患者さまを対象といたします。

発熱が生じ医師が肺炎と診断した場合、その症状、使用したお薬、症状の経過について記録します。

3 調査期間

2014年1月27日から2016年3月31日を調査期間といたします。

4 研究責任者

今永光彦（国立病院機構東埼玉病院 内科医長）

5 個人情報およびプライバシーの保護について

この研究では、当院で訪問診療を行っている患者さんが発熱され、医師が肺炎と診断した際のカルテ情報を匿名化して記録します。この研究による個人情報やプライバシーの漏洩や公開は生じません。また、この研究に個人情報が使用されることもありません。

この研究についてご質問があるときは、上記の研究責任者までお問い合わせください。

また、この研究に参加されたくない方は、上記の研究責任者へお申し出ください。